

第150回春期大会 2026年5月15日(金)～18日(月) 富山国際会議場(完全対面開催)

主 催 一般社団法人軽金属学会

後 援 富山市、公益財団法人軽金属奨学会

協 賛 一般社団法人日本アルミニウム協会、一般社団法人日本マグネシウム協会、一般社団法人日本チタン協会、一般社団法人日本塑性加工学会、公益社団法人日本铸造工学会、一般社団法人軽金属溶接協会、公益社団法人日本金属学会、一般社団法人日本鉄鋼協会、公益社団法人日本材料学会、一般社団法人日本機械学会、一般社団法人日本ダイカスト協会、一般社団法人軽金属製品協会、公益社団法人自動車技術会、公益社団法人日本顕微鏡学会、一般社団法人溶接学会、一般社団法人粉体粉末冶金協会、一般社団法人資源・素材学会、日本バイオマテリアル学会、日本熱物性学会、一般社団法人日本航空宇宙学会、日本チタン学会(依頼中)

15日(金) 富山国際会議場 メインホール JR富山駅新幹線口より市内電車(3および4系統 国際会議場前下車) もしくは徒歩15分 定時総会・表彰式 軽金属学会賞・軽金属学会功労賞・軽金属功績賞

軽金属学会賞受賞講演 宇宙航空研究開発機構 専任教授 佐藤英一君

市民フォーラム「世界の縮図、富山湾(仮)」 富山大学 副学長 張勁教授

レセプション・表彰式招待者歓迎会(富山国際会議場 ホワイエ)

16日(土)、17日(日) 富山国際会議場

研究発表講演会

テーマセッション1「アルミニウム合金のリサイクルと不純物低減・制御」

テーマセッション2「金属積層造形体およびセル構造体における不均一変形の力学」

テーマセッション3「キンクの材料科学(Ⅱ)」

テーマセッション4「サステナブル蓄電池電極用軽金属材料の開発Ⅱ」

テーマセッション5「中高温域における軽金属材料の力学特性と加工技術」

テーマセッション6「生体応用に向けた軽金属材料の新展開」

ポスターセッション 16日(土)

軽金属奨学会「特別奨学生セッション」

軽金属功績賞受賞講演 16日(土)、17日(日)(一般講演セッション内で実施)

男女共同参画セッション 16日(土)(ハイブリッド開催)

企業招待講演セッション・軽金属企業研究会 16日(土)

機器・カタログ展示 16日(土)、17日(日)

懇親会 16日(土) ANAクラウンプラザホテル富山(〒930-0084 富山県富山市大手町2番3号 富山国際会議場隣接)

見学会 18日(月) 立山「雪の大谷」バスツアー

第150回春期大会 参加申込

大会参加費(消費税10%込、講演概要集のカラーデジタル版含む)。

冊子版(モノクロ)希望の場合は別途購入)

	正会員	学生会員	非会員
第1期事前申込	10,000円	3,000円	15,000円
第2期事前申込	12,000円	4,000円	15,000円

(軽金属学会維持会員会社社員、協賛学協会個人会員の方は会員扱い)

懇親会費(消費税10%込)

	正会員	学生会員	非会員
第1期事前申込	10,000円	3,000円	12,000円
第2期事前申込	12,000円	5,000円	12,000円

(軽金属学会維持会員会社社員、協賛学協会個人会員の方は会員扱い)

大会参加申込方法

軽金属学会ホームページの「第150回大会」ページで受付けています。※個人会員は会員マイページにログインしてから参加申込してください。

大会参加費支払方法

第1期: 申込と支払方法選択(クレジット決済も可)が完了すると、受付No.、振込先等を明記した「第150回春期大会 参加申込受付メール」が送信されるので、クレジット決済以外の方はその内容に従って参加費の振込みをお願いします。個人会員の参加費の請求書あるいは領収書(入金確認後、請求書から領収書に切り替わります)は会員マイページから入手いただけます。参加費の支払いは4月14日までお願いします。

第2期: 参加費の支払いはクレジット決済のみ受けます。第1期同様、個人会員の参加費の領収書は会員マイページから入手いただけます。

第1期事前申込締切: 2026年4月14日(火)

第2期事前申込締切: 2026年5月8日(金)

- ・大会会期中の総合受付での参加申込受付は行いませんので、必ず、事前申込をお願いします。
- ・大会プログラムは、軽金属学会ホームページならびに「軽金属」3月号に掲載します。
- ・大会参加者を対象に開催会場での託児室を設置します。利用料は個別の消耗品等を除き原則無料です。詳細については後日ホームページ等で案内します。

講演概要集ダウンロード

- ・個人会員の参加者は、会員マイページより大会1か月前からカラーデジタル版概要集を無期限でダウンロード可能です。
- ・維持会員、協賛学協会個人会員、非会員の参加者にはID、パスワードを発行し、概要集ダウンロードサイトからダウンロード可能としますが、ダウンロード期間は大会終了後2週間までとなります。※いずれも参加費の入金確認後でないと概要集はダウンロードできません。

概要集冊子版(消費税込、送料別)※冊子版はモノクロ印刷)

定価	会員価格
15,000円	10,000円

- ・概要集の冊子版をご希望の場合は軽金属学会ホームページの「刊行物・資料」-「学術図書類」-「その他の出版物」から購入ください。
- ・概要集電子版のUSBメモリの販売もしています。上記ホームページから購入ください。定価15,000円、会員価格10,000円。

第150回春期大会講演募集

講演申込締切 2026年1月15日(木) 23:59までにWeb申込
概要集原稿締切 2026年3月9日(月) 13:00 事務局必着
概要集印刷発行日 2026年4月15日

発表資格：発表者は軽金属学会個人会員に限ります。非会員の方は、軽金属学会ホームページの新規入会申請から入会手続きをお願いします。

講演内容：講演は原則として未発表のもので論文としてまとまつたもの

講演形式：口頭発表（一般セッション、テーマセッション）、またはポスター発表（ポスターセッション）

同一発表者による複数の口頭発表も可能です。但し、ポスター発表は1人1件に限ります。

概要原稿：海外からの参加者にも発表内容が伝わるよう、英文 ABSTRACT (100 words)、図表および図表のキャプションは英文表記。詳細は「概要原稿の書き方」を参照

発表方法：(1) 口頭発表

- ①講演時間は、原則として、発表15分、討論5分
- ②プロジェクトのみ用意。PCは発表者が持参
- ③英語での発表も可

(2) ポスター発表

- ①在籍時間は1時間で、ポスターは当日16:30まで展示
- ②英語ポスター発表は英語発表ブースで行い、質疑応答は英語を使用

申込方法：軽金属学会ホームページ：<https://www.jilm.or.jp/>から申込

※講演申込には会員マイページへのログインが必要です。講演発表に伴い入会される方は、軽金属学会ホームページから入会申請してください。会員マイページの利用開始は、本年度分会費の入金を確認、入会承認後となるため、余裕をもって入会申請するようお願いします。

(1) 会員マイページにログインした後、ホームページの「イベント」-「講演大会」-「募集中の大会」をクリック（会員マイページにログインしないと講演申込ボタンが表示されない）。

(2) 「講演申込」画面の内容に従い、講演申込を行う。

(3) 講演形式を、口頭発表/ポスター発表（日本語）/ポスター発表（英語）/口頭発表・日本語ポスターのどちらでもよい/テーマセッション/特別奨学生セッションから選択する。口頭発表あるいは口頭発表・日本語ポスターのどちらでもよいを選択した場合は、統いて講演分類を選択する。テーマセッションはT1を選択する。

※ポスターセッション充実の目的は、口頭発表によるパラレルセッションを可能な限り解消するためであり、80件程度のポスター発表を見込んでいます。ポスター発表実施要領をご覧ください。多くのポスター発表申込を期待しています。

※大分類（対象材料）および5つの小分類（用途、現象、検出・解析方法、目的、材料形状）からそれぞれ該当するものを選択ください。従来と異なる切り口でのプログラム編成を考えています。

(4) 学生は申込時の学年（B4, M1, M2, D1, D2, D3, PD：博士研究員、B：高専、専攻科）表記とする。

(5) 続いて大会参加申込をする。講演申込から続けて大会参加申込をすることで講演申込・参加申込の受付が完了するため、複数発表の場合も講演申込ごとに大会参加申込をする。但し、参加費の支払は1件分でよい。

※講演申込と同時に参加申込をするので、講演申込は必ず発表者が行ってください。大会参加費はクレジット決済、郵便振替または銀行振込で4月14日(火)までにお支払いください。

(6) 申込が完了すると、受付No.を明記した「第150回春期大会 講演申込受付メール」、参加申込受付No.、振込先等を明記した「第

150回春期大会 参加申込受付メール」が送信される。
※参加申込受付メールしか届かない場合は講演申込が受付されていないので事務局までご連絡ください。

(7) 講演申込内容は申込締切日までは会員マイページの「大会 講演履歴」ページで修正可能です。

【講演題目に関する確認事項】

講演申込時の講演題目・著者名がそのままプログラムになりますので、申込の際は間違いのないよう入力してください。

- (1) 題目は、簡潔でしかも論文の内容を適切に表すようにする。原則として研究中に用いられる材料名と形状を標題に含める。
- (2) 副題を付けない。また、「第〇報」のように連続報文としない。
- (3) 「～に関する研究」、「～について」等の表現は用いない。
- (4) 原則として略語、略称ならびに商品名は用いない。
- (5) 英文題目は和文題目と内容を一致させる。文頭のみ大文字とし、残りは小文字で記入する（各単語の頭文字を大文字としない）。冠詞はできるだけ省略する。
- (6) 学術・専門用語の表記方法に関する注意は「軽金属」執筆要領（別紙2：表記方法に関する注意）を参照する。
<https://www.jilm.or.jp/page-publication07>

問合先：一般社団法人軽金属学会 事務局

〒104-0061 東京都中央区銀座4-2-15 塚本素山ビル

Tel: 03-3538-0232 Fax: 03-3538-0226

E-mail: jilm-shomu@jilm.or.jp

ポスター発表実施要領

軽金属学会講演大会のポスターセッションを充実させています。

※優秀ポスター発表賞、優秀英語ポスター発表賞の受賞はおのの1回を限度とする。

※1度優秀ポスター発表賞を受賞した方は、英語ポスター発表、あるいは口頭発表の申込をお願いします。

※講演大会の国際化の一環として、英語で質疑応答を行う、英語ポスター発表枠を設置

※優秀ポスター発表賞および優秀英語ポスター発表賞受賞者を軽金属学会会長名で表彰。懇親会の冒頭に表彰、副賞贈呈、表彰者を会誌「軽金属」および「軽金属学会ホームページ」に写真入りで紹介

※協賛団体である一般社団法人軽金属溶接協会により優秀な溶接・接合関連のポスター発表を同時に審査、軽金属溶接協会会長名で表彰

※学界、業界を問わず、35歳以下の正会員からのポスター発表も表彰の対象

ポスター作成方法

(1) ポスターサイズはA0版（幅841mm×高さ1189mm）が標準。ポスター掲示用に幅1200mm×高さ1800mmのパネル1枚を予定。パネルの前に机は置けない。

(2) ポスターは軽金属学会ホームページ掲載の「ポスター作成マニュアル」に従って作成する。

①表題には英文表題を並記

②図表および図表のタイトルは英文表記

③ポスター右肩にポスター番号P〇〇を表記

④英語ポスター発表はすべて英語表記

(3) 2部制で開催し在席時間は1時間。ポスターは10:00から12:00までに掲示を済ませ、当日の16:30までに発表者自身で撤去する。

16:30以降残っているポスターは実行委員会が処分する。

テーマセッション講演募集

テーマセッションは、世話を人が講演順、座長等含め基調講演と一般講演をプログラム編成し、充実した討論を通じて参加者相互の実りある情報交換の場を提供します。

テーマセッション1

「アルミニウム合金のリサイクルと不純物低減・制御」

Recycling and impurity reduction/control of aluminum alloys

趣旨：

SDGsでの気候変動対策や、温室効果ガス削減目標などの達成のため、CO₂排出量削減の取り組みが進められており、アルミニウム合金の製造においてもグリーン地金の積極的な使用や、リサイクルの推進などが進められている。アルミニウム合金のリサイクルにおいて、不純物の増加を避けることは難しく、従来は不純物元素量を規制することで材料特性の最大化を図り製品化してきたが、不純物の低減や除去、あるいは不純物制御による許容量拡大が必要になっている。そのため、NEDOやJSTなどのリサイクルに関する研究事業、日本アルミニウム協会のサーキュラーエコノミー委員会、軽金属学会の研究部会など、アルミニウム合金のリサイクルに関する検討が幅広く行われている。本テーマセッションでは、アルミニウム合金のリサイクルに関する取り組みや課題、不純物による材料組織や特性への影響、不純物元素の低減ならびに制御技術などについて、広く講演を募集し、さまざまな議論を行う。

世話人：箕田 正（株式会社UACJ）、加藤謙吾（富山大学）、岡澤俊彦（アート金属工業株式会社）、船塚達也（富山大学）

テーマセッション2

「金属積層造形体およびセル構造体における不均一変形の力学」

Mechanics of heterogeneous deformation in additively manufactured or cellular metals

趣旨：

粉末床溶融結合法を中心とした金属積層造形プロセスでは、急速加熱・急速凝固・巨大温度勾配といった既存の溶融・凝固プロセスから逸脱した温度場により、特異な微視的材料組織が形成される。そのため、金属積層造形体に外力が作用すると、微視的材料組織に起因する不均一変形が生じる。一方、内部に多数の気孔を有するセル構造体は、衝撃吸収、熱交換に優れた材料として期待されているが、セル形状やセルサイズといった巨視的セル構造に起因した不均一変形が生じることが知られている。このようなミクロおよびマクロな材料組織に起因する不均一変形に関する理解は、金属積層造形体およびセル構造体の実用化に不可欠である。本テーマセッションでは、上記材料における不均一変形の力学について専門的知識を有する研究者による広範な議論を行う。金属積層造形、セル構造体、粉末冶金、高速変形、塑性力学といった専門分野からの多数の講演を期待する。

世話人：渡辺義見（名古屋工業大学）、北薗幸一（東京都立大学）、西田政弘（防衛大学校）、大久保智（東京都立産業技術研究センター）

テーマセッション3 「キンクの材料科学（II）」

Materials science on Kinking II

趣旨：

硬質/軟質ナノ層状構造をもつLPSO構造のキンク強化は新しい材

料強化法として注目されている。特に、周期性に関わらない硬質/軟質ナノ層状構造は“ミルフィーユ構造（MFS）”と命名されて、マグネシウム合金にとどまらずチタン合金やアルミニウム合金などの軽金属やセラミックスに対して、MFS構造物質の探索とキンク強化が試みられている。本学会でも、これまでにLPSO/MFS構造の材料科学に関するテーマセッションを8回にわたり開催するとともに、「LPSO/MFS構造研究部会」を立ち上げて研究を推進してきた。2024年には「キンク研究部会」を新たに立ち上げて、キンク変形とキンク強化に関する研究の推進を図っている。本テーマセッションでは、2024年春期大会のテーマセッション「キンクの材料科学I」の第2段として、軽金属を中心に、LPSO/MFS構造物質の創製、キンク変形・強化のメカニズムと理論に関する最新の研究成果に関する講演を募集し、軽金属のキンク強化の学理について議論したい。

世話人：河村能人（熊本大学）、阿部英司（東京大学）、垂水竜一（大阪大学）、稻邑朋也（東京科学大学）、眞山 剛（熊本大学）

テーマセッション4

「サステナブル蓄電池電極用軽金属材料の開発II」

Development of light metal materials for sustainable battery electrodes II

趣旨：

カーボンニュートラルを達成するための施策がグローバルな規模で推進されている。なかでも革新的な次世代蓄電池による陸海空のモビリティ駆動機器、変動の大きい再生可能エネルギーの蓄電システム、各種ガジェットの携帯電源などへの適用は喫緊の課題である。特に、軽金属活物質を電極に用いる蓄電池では、現行のリチウムイオン電池（LIB）を凌駕する体積エネルギー密度が要求されている。これらを達成するためにマグネシウム、あるいはアルミニウム合金を用いた電極が各種の組成や形態で検討されている。その際、工業製品としての普及には高性能化とともに大幅なコストダウンが必須となる。これらの課題は、持続可能な軽金属の材質と製法、および二次加工の低コスト化によって達成される。本テーマセッションでは、社会実装を目指した各種の軽金属蓄電池用電極に関する研究・開発発表を広く募集する。

世話人：附田之欣（東北大学）、松田健二（富山大学）、会田哲夫（富山大学）、鈴木真由美（富山県立大学）、羽賀俊雄（大阪工業大学）、中田大貴（長岡技術科学大学）、千野靖正（産業技術総合研究所）、中津川勲（産業技術総合研究所）、栗原英紀（埼玉県産業技術総合センター）、田畠裕信（中越合金鑄工）、駒井 浩（日本マグネシウム協会）、竹山英夫（富山県アルミ産業協会）

テーマセッション5

「中高温域における軽金属材料の力学特性と加工技術」

Mechanical properties and forming technology of light metals at elevated temperatures

趣旨：

アルミニウム合金やチタン合金をはじめとする軽金属材料は、構造材料としての軽量性と高強度に加え中・高温域での優れた特性を活かすことで、輸送機器やエネルギー分野における応用が広がっている。しかし、中・高温域での加工においては、ひずみ速度・ひずみ・温度に依存して変形機構が変化し、変態や高温クリープ挙動も関与するため、加工プロセス設計には精緻な理解が不可欠である。さらに、CAEに入力する変形抵抗の取得試験法においては、単純引張試験や単純圧縮試験に内在する不均一変形、潤滑条件、センサー制限などの課題が残されており、高精度な特性値取得には試験法や

構成式の高度化が求められる。加えて、中・高温域での組織応答を理解するには、ミクロモデル構築やマルチスケール解析の発展が不可欠である。また、加工発熱や熱伝達を考慮した熱-機械連成解析、さらには実加工プロセスの高度化も重要である。本テーマセッションでは、これらの課題解決に資する試験法や構成式、および中・高温下における新たな加工プロセスの最新成果を広く募集する。

世話人：吉村英徳（香川大学）

テーマセッション6 「生体応用に向けた軽金属材料の新展開」

Advances in light metals for biomedical applications

趣旨：

軽金属材料の代表であるチタンは、優れた耐食性と生体適合性を有し、人工関節など長期埋入型の硬組織代替デバイスに広く用いられてきた。一方、マグネシウムは水との反応による自己溶解性に加え、高い生体許容量を有することから、生体内溶解性ステントやスクリューなどへの応用が期待されている。さらに、生体用デバイスにおいては、積層造形法など新規製造プロセスの導入や実用化が進められているほか、生体という極限環境下での使用を考慮した表面制御や機能付与に関する研究も活発に行われている。そこで本テー

マセッションでは、「生体応用」という観点から軽金属材料を再考し、その現状と将来展望について議論する。若手を中心に、チタン・マグネシウム合金の開発、組織・表面制御、製造プロセスなど、生体応用を目的とした幅広い研究発表を募集する。

世話人：上田恭介（東北大学）、安藤大輔（東北大学）、中田大貴（長岡技術科学大学）、菅原 優（島根大学）、石本卓也（富山大学）、池尾直子（神戸大学）、仲井正昭（東京科学大学）

軽金属奨学会「特別奨学生」セッション

第141回大会より、公益財団法人軽金属奨学会との共催により、軽金属奨学会「特別奨学生」セッションを定期的に実施する。軽金属奨学会では、軽金属学術界の人材育成のため、軽金属に関する教育機関に在学する有為の学生に対し、研究に専念する時間を与え、創造性に富んだ研究者を育成することを目的に学費および研究費を交付している。本セッションでは特別奨学生の研究成果を発表とともに、特別奨学生制度の紹介も行うので、軽金属学会会員、とりわけ、博士課程を目指す学生会員の聴講を期待する。

— 参加費の振込みについてお願い —

事務局での入金確認のため、申込者ご本人以外、例えば、大学、企業等から参加費を銀行振込みされる場合は、必ず、①申込者名および申込受付No.、②振込日、③振込金額、をFax: 03-3538-0226 またはE-mail: jilm-shomu@jilm.or.jp にご連絡ください。ご協力を宜しくお願いします。

第150回春期大会 支部企画展示のご案内

第150回春期大会実行委員長
富山大学 教授 松田 健二

軽金属学会第150回春期大会では、北陸支部幹事企業による企画展示を併設します。会場では展示の説明ならびに休憩コーナーを設置して皆様のお越しをお待ちしております。

第150回春期大会 見学会のご案内

第150回春期大会実行委員長
富山大学 教授 松田 健二

軽金属学会第150回春期大会では、3000m級の立山連峰の探索を企画しました。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

日 時：2026年5月18日（月）9:30～17:00

集 合：JR富山駅北口 9:00（詳細はお申込み後に別途ご連絡します）

見学先：立山「雪の大谷」バスツアー

解 散：JR富山駅北口 17:00頃

参加費：6,000円（通常の半額）

定 員：なし

申込方法：「第150回春期大会見学会申込み」と題記し、参加者氏名、所属、国籍、連絡先〔郵便番号、住所、勤務先、ファックス番号、E-mailアドレス〕を明記のうえ、ファックスまたはE-mailにて下記宛に、4月17日（金）までにお申込みください。

申込先：第150回春期大会実行委員会 見学会担当 李 昇原（富山大学）

Fax: 076-445-6840 E-mail: swlee@sus.u-toyama.ac.jp

（注：不手際を避けるために、見学会申込ならびに連絡窓口を見学会担当に一本化しています。ご協力をお願いします。）

第150回春期大会 市民フォーラムのご案内

第150回春期大会実行委員長
富山大学 教授 松田 健二

軽金属学会第150回春期大会では、「富山湾の奇跡」の解説を見事に展開してくださる富山大学副学長 張 劲先生に講演をいただきます。本会会員はもちろん広く一般の方にもわかりやすくご紹介いただきます。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

日 時：2026年5月15日（金）16:40～17:30

場 所：富山国際会議場

講 師：富山大学副学長 張 劲 教授

演 題：「世界の縮図 富山湾（仮）」